江戸東京たてもの園 × 東京都美術館

〈やさしい日本語〉ガイドブック

江戸・東京を知ろう

このガイドブックは、音でも聞くことができます

2022.6.25 (SAT) —— 2023.2.12 (SUN)

〈特別展〉

江戸東京博物館コレクション

東京の歩んだ道

江戸東京たてもの園
EDO-TOKYO OPEN AIR ARCHITECTURAL MUSEUM

2022.11.19 (SAT) —— 2023.1.6 (FRI)

〈コレクション展〉

源氏物語と江戸文化

The Tale of Genji and Edo Culture

東京都美術館
TOKYO METROPOLITAN ART MUSEUM

江戸東京たてもの園
EDO-TOKYO OPEN AIR ARCHITECTURAL MUSEUM

江戸東京博物館コレクション

東京の歩んだ道

どこ　江戸東京たてもの園

いつ　2022年6月25日（土曜日）～2023年2月12日（日曜日）

休み　11月14日(月曜日)、21日(月曜日)、28日(月曜日)、12月5日(月曜日)、12日(月曜日)、19日(月曜日)、25日(日曜日)～2023年1月1日(日曜日)、10日(火曜日)、16日(月曜日)、23日(月曜日)、30日(月曜日)、2月6日(月曜日)

時間　9:30～16:30（16:00までに入ってください）

いくら　400円
※小学生以下、東京都に住んでいる中学生、東京都の学校に通っている中学生：無料（0円）
※東京都以外の中学生・高校生：200円
※大学生など：320円
※65歳以上の人：200円

主催(誰がしますか)　東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 江戸東京たてもの園

WEBサイト　https://www.tatemonoen.jp/special/2022/220625.php（日本語）
https://www.tatemonoen.jp/english/special/2022/220625.php（English）

電話　042-388-3300

展示について

江戸東京たてもの園は、東京都江戸東京博物館の 分館です。 東京都にあった 歴史的な 建物を 見ることが できます。 昔 建物が あった 場所から運んで、同じものを もう一度 作っています。 展覧会には、建物のことや多摩地域の 歴史など、いろいろな テーマが あります。 今回は、休んでいる東京都江戸東京博物館の 展示を 少し 江戸東京たてもの園に 運びました。今回の 江戸東京たてもの園の 特別な 展示では、東京の 歴史を 知ることが できます。

東京には、約 3 万 8 千年前から 人が 住んでいました。
古墳時代（200 年代の 終わり～ 600 年代）には、人が 亡くなったとき お墓の 周りに埴輪という 土で 作った 土器を 並べました。
埴輪には、人や 家、戦うための 武器など、いろいろな 形が ありました。
中世（1180 年～ 1600 年ごろ）には、東京にも 城が 建てられました。
東京の 城は、江戸城が 有名です。 ほかにも八王子城など 城が たくさん ありました。

太刀形埴輪 大田区観音塚古墳出土
古墳時代後期　江戸東京たてもの園蔵

Sword-shaped Haniwa, late Kofun period, Edo-Tokyo Open Air Architectural Museum

日本の歴史

	B.C.11000	B.C.300	A.D.1
	旧石器	縄　文	弥　生
		原始	

久留米藩士 江戸勤番長屋絵巻
(複製)1840年（天保11年）
東京都江戸東京博物館
原資料所蔵

Illustrated Scroll of the Apartments for Retainers of the Kurume Domain on Duty in Edo（Replica）, 1840, Tokyo Metropolitan Edo-Tokyo Museum

1603年（慶長8年）、徳川家康は、江戸（今の東京）に政治をするための幕府を開きました。家康は、江戸を都市にするために新しい町を作りました。江戸は、政治や文化の中心として、約260年続きました。

江戸時代（1603年～1867年）、紙にたくさん印刷ができるようになりました。本などがたくさん出ましたから、大勢の人が事件や災害のことを知ることができるようになりました。町の人が楽しむことができる本や、浮世絵もありました。

歌川広重は、江戸の景色をたくさん描きました。「名所江戸百景」が有名です。江戸の人にとても人気がありました。

名所江戸百景 浅草田甫酉の町詣
歌川広重／画　1857年（安政4年）
東京都江戸東京博物館蔵
(見ることができる日：2022年12月6日～2023年1月9日)

Asakusa Rice Fields and the Torinomachi Festival, from the series One Hundred Famous Views of Edo,1857, Tokyo Metropolitan Edo-Tokyo Museum (On display : December 6 , 2022 - January 9 , 2023)

300 400 500 600 700 800 1000 1200

古墳 飛鳥 奈良 平安 鎌倉

古代

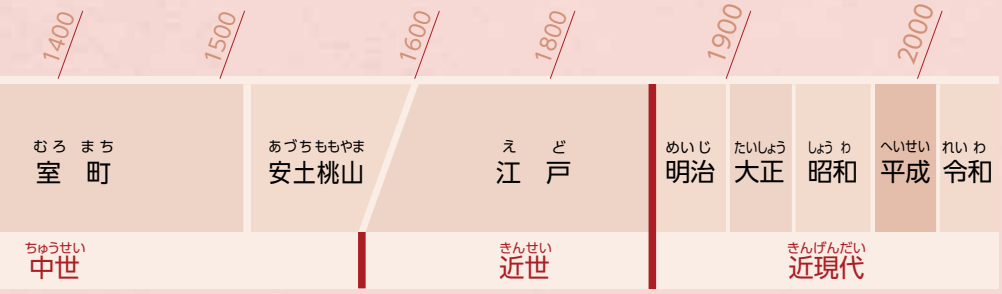
旧鹿鳴館の持送り
1883年（明治16年）
東京都江戸東京博物館蔵

Transmit Support of Rokumeikan,1883, Tokyo Metropolitan Edo-Tokyo Museum

明治時代（1868年～1912年）になると、江戸の名前が東京に変わりました。
新しい政治が始まって、西洋の知識や技術をたくさん使うようになりました。
東京は、日本の首都として発展しました。
しかし、1923年（大正12年）の関東大震災や1945年（昭和20年）の東京大空襲で、東京の町は、焼けてしまいました。戦争が終わったころは、物が足りませんでした。そして、食べ物も足りませんでしたから、生活がとても大変でした。
しかし、経済が成長すると、東京は大きく発展して、生活も豊かになりました。

空襲で焼け焦げたチャンチャンコ
1945年（昭和20年）
東京都江戸東京博物館蔵

Clothes that are burnt because of air raid, 1945, Tokyo Metropolitan Edo-Tokyo Museum



江戸東京たてもの園では、
展覧会と いろいろな 時代の 建物を 見ることが できます。

この家は、江戸時代に 建てられました。 入口を 入ると、土間（下が土の 部屋）が あります。 土間から上に あがると、木の 床の 部屋が あります。「ヒロマ」と いいます。「ヒロマ」は、食事をしたり、家族が休む 部屋です。

綱島家（農家）江戸時代中期（1700年代前半）建築
Farmhouse of the Tsunashima Family, mid - Edo period

この建物は、江戸時代に 徳川家が建てた 霊廟です。 霊廟は、亡くなった人のために 造った 建物です。 偉い人のために 造ることが多いです。 きれいな 色の 飾りが たくさん あります。

旧自証院霊屋 1652年（慶安5年）建築
Jisho-in Mausoleum (Otama-ya),1652

高橋是清が 住んでいた 家です。高橋是清は、明治時代の人で、政治家でした。総理大臣もしました。この家は、ガラスを たくさん 使っています。 明治時代の ガラスは、値段が とても 高かったです。

高橋是清邸 1902年（明治35年）建築
House of Korekiyo Takahashi, 1902

江戸東京たてもの園では、東京に あった 大切な 建物を 江戸東京たてもの園に運びました。そして、できるだけ 建っていたときと 同じように もう一度 建てました。建物の 中には、生活に 使っていたものなども 展示しています。 いろいろな 建物での生活を 見てください。 そして、今の 生活と 比べてみてください。

昔の いろいろな店、銭湯(町の 風呂屋)、居酒屋などを見ると、町に 住んでいた人の 毎日の 生活の 様子を感じることが できます。

江戸東京たてもの園

〒 184-0005
東京都小金井市桜町 3-7-1
(都立 小金井公園の 中に あります)
電話：042-388-3300

https://www.tatemonoen.jp/

WEBサイト

アクセス

・JR 中央線「武蔵小金井駅」から バスで 5 分くらいです。
北口の 2・3 番 乗り場から バスに 乗ります。
「小金井公園西口」で 降りてください。歩いて 5 分くらいです。
・西武新宿線「花小金井駅」から バスで 5 分くらいです。
「南花小金井」(小金井街道に あります)から「武蔵小金井駅」行きの バスに 乗ります。
「小金井公園西口」で 降りてください。歩いて 5 分くらいです。

東京都美術館
TOKYO METROPOLITAN ART MUSEUM

源氏物語と江戸文化

The Tale of Genji and Edo Culture

どこ	東京都美術館　ギャラリーB
いつ	2022年11月19日（土曜日）～2023年1月6日（金曜日）
休み	11月21日(月曜日)、12月5日(月曜日)、19日(月曜日)、29日(木曜日)～2023年1月3日(火曜日)
時間	9:30～17:30（17:00までに入ってください） ※11月25日（金曜日）、12月2日（金曜日）、9日（金曜日）、16日（金曜日）、23日（金曜日）は、 9:30～20:00（19:30までに入ってください）
いくら	無料（0円）
主催（誰がしますか）	東京都、公益財団法人 東京都歴史文化財団 東京都美術館
WEBサイト	https://www.tobikan.jp/exhibition/2022_collection.html（日本語） https://www.tobikan.jp/en/exhibition/2022_collection.html（English）
電話	03-3823-6921（東京都美術館 交流係）

源氏物語について

今から 約 1000 年前の 日本は、平安時代でした。 源氏物語は、平安時代の 紫 式部という 女性が 書いた とても 長い 話です。 全部で 54 冊あります。 この話に 出てくる 人は、400 人 以上です。 今、30か国以上の 言葉で 読むことが できますから、世界中の 人が 読んでいます。

平安時代の 美しい 季節や 光源氏（話の 中心になる人の 名前）と 周りの 人との いろいろな 関係が 書いてあります。 源氏物語を 読むと、社会の 中で 特別な 力を 持っていた 貴族の 生活や、平安時代の 豊かな 王朝文化を 知ることが できます。

社会の 中で 特別な 力を 持っていた 公家や 武家の人たちは、昔の話を よく 読んで いました。 昔の話の 代表が 源氏物語 でした。 源氏物語を 読んだ人は、豊かな 王朝の 世界に 憧れていました。 話に 書いてあることを 絵に するなど、 いろいろな 新しい 文化が 生まれました。

狩野栄信《十二ヶ月月次風俗図 常夏 六月》
江戸時代 19 世紀 東京都江戸東京博物館蔵
(見ることが できる 日：2022 年 11 月 19 日 ～ 12 月 18 日)

Kanō Naganobu, Customs Throughout the Twelve Months—Sixth Month: Everlasting Summer, 19th Century, Tokyo Metropolitan Edo-Tokyo Museum (On display: November 19 – December 18, 2022)

江戸時代（1603年～1867年）になると、紙に たくさん 印刷が できるようになりました。そして、源氏物語も 大勢の人が 読むことが できるようになりました。しかし、文章が 難しくて、とても 長いので、簡単に 読むことが できませんでした。そのため、どんな人にも 読みやすいように 話を 分かりやすく 説明する 本が 出ました。

『偐紫田舎源氏』は、源氏物語の ストーリーの 時代や 人を 変えて 書いた 話です。大勢の人が 読みました。錦絵（木の 板を 彫って 色を つける 絵）にもなりました。

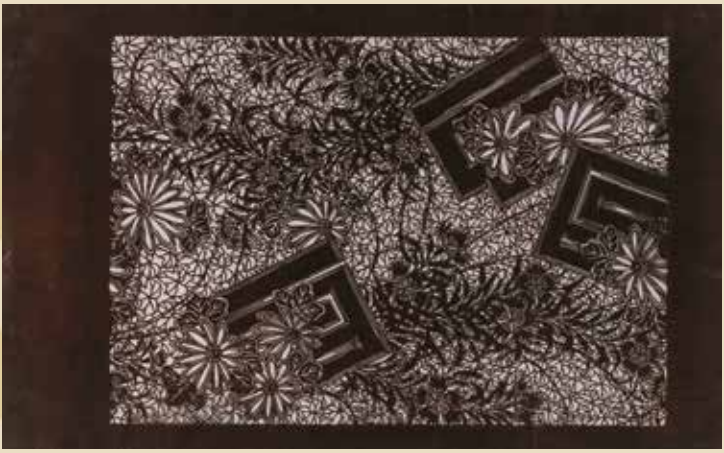
歌川豊国（三代）《源氏四季ノ内 冬》
安政5年（1858年）5月　東京都江戸東京博物館蔵

Utagawa Toyokuni III, Four Seasons of Genji: Winter, 5th Month, 1858,
Tokyo Metropolitan Edo-Tokyo Museum

歌川豊国（三代）《無題［琴を弾く藤の方］》弘化4年～嘉永5年（1847年～1852年）
東京都江戸東京博物館蔵
（見ることが できる 日：2022年12月20日～2023年1月6日）

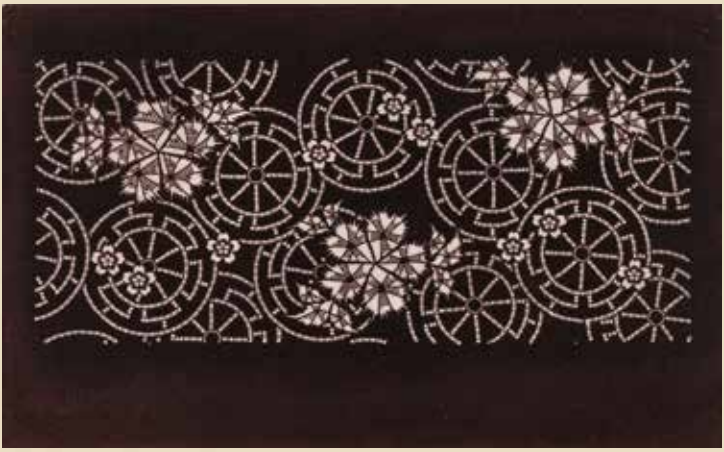
Utagawa Toyokuni III, Untitled [Fuji-no-kata Playing a Koto (flat harp)], 1847–1852, Tokyo Metropolitan Edo-Tokyo Museum (On display: December 20, 2022 – January 6, 2023)

源氏物語の イメージから 生まれた デザインは、江戸時代の 前から 染織（布などに色を つけること）・漆工（漆を 使った 作品）などに 広がっていました。
江戸時代になると、着物に 源氏物語の 場面や モチーフを デザインすることが多くなりました。 このデザインは、「源氏文様」といいます。 江戸（今の 東京）の人に とても 人気が ありました。 江戸時代の 源氏物語は、着物や 生活に 必要な道具などにも 広がって、ファッションでも 楽しむようになりました。



《長板中形型紙　源氏香に菊》明治～大正時代 20 世紀
東京都江戸東京 博物館蔵

Nagaita-chūgata Stencil—‘Genjikō’(motifs related to the Tale of Genji)with chrysanthemums, Early 20th Century, Tokyo Metropolitan Edo-Tokyo Museum



《長板中形型紙　源氏車》大正～昭和時代 20 世紀
東京都江戸東京 博物館蔵

Nagaita-chūgata Stencil—‘Genjiguruma Wheel’design, 20th Century, Tokyo Metropolitan Edo-Tokyo Museum

同じときに 見ることが できる 展覧会

美をつむぐ 源氏物語

上野アーティストプロジェクト2022
Ueno Artist Project 2022

― めぐり逢ひける　えには深しな ―

“Beauty Nurtured by *The Tale of Genji* ―It is Fate that Brings Us Together”

見ることが できる 日：2022年11月19日（土曜日）～2023年1月6日（金曜日）

この展覧会は、有料です。 お金が かかります。 WEB サイトを 見てください。

https://www.tobikan.jp/exhibition/2022_uenoartistproject.html（日本語）

https://www.tobikan.jp/en/exhibition/2022_uenoartistproject.html（English）

平安時代から 約1000年の 間、源氏物語を 大勢の人が 読んできました。 そして、源氏物語の イメージは、美術の 作品や 芸能などにも 広がっていきました。

どの時代の人にも 人気が ありました。

この展覧会では、今の 時代の 作家の 書、ガラス工芸、染色、絵画などの 作品を 展示して、 源氏物語の 美しい 世界を 紹介します。

青木寿恵《源氏物語》1976年頃
寿恵更紗ミュージアム蔵

AOKI Sue, The Tale of Genji, c. 1976,
SUE SARASA MUSEUM of ART

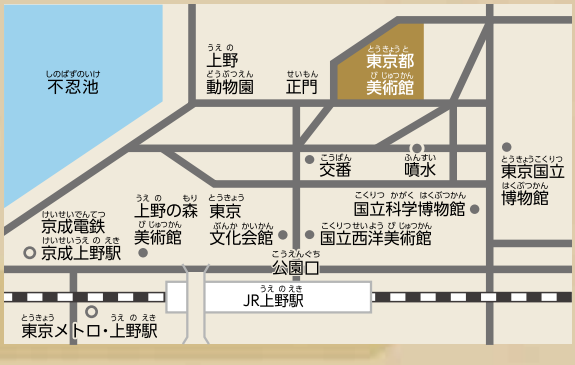
渡邊裕公《千年之恋〜源氏物語〜》2016年　作家蔵

WATANABE Hiroaki, A Thousand Year Romance—The Tale of Genji, 2016, Collection of the artist

東京都美術館

〒110-0007
東京都台東区上野公園8-36
電話：03-3823-6921

https://www.tobikan.jp



WEBサイト

アクセス

・JR「上野駅」の公園口から歩いて7分です。
・東京メトロ銀座線・日比谷線「上野駅」の7番出口から歩いて10分です。
・京成電鉄「京成上野駅」から歩いて10分です。
※ 駐車場はありません。

江戸東京たてもの園 × 東京都美術館

〈やさしい日本語〉ガイドブック

江戸・東京を知ろう

このガイドブックでは、展覧会を〈やさしい日本語〉で 紹介しています。
〈やさしい日本語〉は、日本語を 勉強している人や、子供にも わかりやすい 日本語です。
2 つの 展覧会では、江戸・東京を 知ることが できる、いろいろな 展示を 見ることが できます。
ぜひ、江戸東京たてもの園、東京都美術館へ 行って、実際の 展示を 見てください！

江戸・東京を知ろう　WEB サイト
https://www.rekibun.or.jp/yasashii2022/

お願い

※博物館・美術館へ 行く 前に、WEB サイトを よく 見てください。
※新型 コロナウイルスが ありますから、展覧会の 内容が 変わるかもしれません。
※熱が 高いとき、風邪のとき、具合が 悪いときは、博物館・美術館に 入ることが できません。

東京都江戸東京博物館について

東京都江戸東京博物館は、徳川家康が 江戸（今の 東京）で 政治をするための 幕府を 開いてから、約 400 年間の 歴史と 文化を いろいろな 資料や、本物のように 作った 模型で 紹介している 博物館です。 今、東京都江戸東京博物館は、工事のために 休んで います（～ 2025 年まで）。 東京都江戸東京博物館に 行くことは できませんが、「ハイパー江戸博」という スマートフォン アプリケーションを 作りました。 ぜひ、ダウンロードして 遊んでみてください。

ハイパー江戸博
https://hyper.edohaku.jp/

〈発行〉公益財団法人 東京都歴史文化財団
https://www.rekibun.or.jp/

〈協力〉一般財団法人 東京都つながり創生財団
Tokyo Metropolitan Foundation "TSUNAGARI"